

平成30年度(2018年度)

管理事業名	公園緑地事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第2節 暮らしや都市活動を支える基盤づくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 2 公園整備費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
<p>公園等経常管理事業 公園等維持管理事業 公園等施設改良事業 街角防災ふれあい事業 樹木再資源化事業 千里北公園水遠池整備事業 北大阪健康医療都市管理事業</p> <p>事業の目的と概要 (目的) 公園緑地等は市民生活にうるおいと安らぎを与え、また憩いの場や災害時の避難地となります。そして、適切な公園緑地等の維持管理を図ることにより、市民及び利用者が安全に安心して利用していただき、満足してもらうものです。</p> <p>(概要) ・樹木剪定 遊具点検など公園緑地等の維持、修繕 ・公園緑地等の整備や改修 ・公園緑地等の占用許可、管理許可</p>					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
市で管理する都市公園等の管理面積	ha	217.89	218.21	220.89	吹田市管理の都市公園・遊園・緑地・緑道の面積
緑あふれる未来サポーター登録団体数	団体	90	91	96	市民協働による維持管理の団体数
成果の説明	<p>・都市公園等の管理面積の増加は、健都ルールサイド公園及び開発に伴う移管遊園によるものです。</p> <p>・緑あふれる未来サポーターの登録団体数は増加傾向にあり、登録団体主体の維持管理活動が行われています。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	37,792	38,220	44,567	6,347
国庫支出金(経常費用充当)	2,100	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,710	2,518	438,827	436,309
経常収入 小計(a)	41,601	40,739	483,395	442,656
給与関係費	190,505	198,914	202,235	3,321
物件費	548,127	725,974	731,334	5,360
維持補修費	54,173	49,329	190,374	141,045
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,907	4,676	5,469	793
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	37,014	40,786	45,464	4,678
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	12,050	12,719	13,910	1,191
退職手当引当金繰入額	12,201	13,895	20,606	6,711
支払利息	17,466	14,402	11,666	△2,736
その他	-	-	23,725	23,725
経常費用 小計(b)	875,444	1,060,696	1,244,783	184,087
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△833,843	△1,019,957	△761,388	258,569
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	77,670	45,497	326,364	280,868
特別収入 小計(d)	77,670	45,497	326,364	280,868
固定資産除売却損	0	0	0	0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	0	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	77,670	45,497	326,364	280,868
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△756,174	△974,460	△435,024	539,437
一般財源充当額	993,617	981,788	1,207,118	225,330
再計	237,443	7,327	772,094	764,767

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	平成30年度より千里南公園の設置管理許可物件が増加 駐車場占用料 4,656,670円 カフェ占用料 940,000円
維持補修費	平成29年度から繰越し工事 千里北公園水遠池整備工事 85,618,080円 千里南公園パークカフェ整備工事 22,873,160円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	41,367	40,739	47,932	7,193
行政サービス活動支出	838,640	1,019,019	1,168,827	149,808
行政サービス活動収支差額	△797,273	△978,280	△1,120,895	△142,614
投資活動収入	75,000	272,100	23,100	△249,000
投資活動支出	36,362	54,121	13,867	△40,254
投資活動収支差額	38,638	217,979	9,233	△208,746
財務活動収入	-	-	119,500	119,500
財務活動支出	234,981	221,486	214,956	△6,530
財務活動収支差額	△234,981	△221,486	△95,456	126,030
収支差額 合計	△993,617	△981,788	△1,207,118	△225,330
一般財源充当額	993,617	981,788	1,207,118	225,330
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動収入) 公共施設等整備充当債
	台風21号による倒木処理 101,000千円 7月豪雨による法面復旧詳細設計 10,100千円 7月豪雨による法面応急復旧工事 8,400千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	2,369 円	台風被害による倒木等の処理費用が増加したため、コストが増加したものです。
	平成29年度	370,072 人	2,866 円	
	平成30年度	371,030 人	3,355 円	
公園等1㎡あたりのコスト	平成28年度	2,178,900 ㎡	402 円	台風被害による倒木等の処理費用が増加したため、コストが増加したものです。
	平成29年度	2,182,100 ㎡	486 円	
	平成30年度	2,208,900 ㎡	564 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	227,675	206,654	△21,021
未収金	-	-	-	地方債	213,943	191,723	△22,220
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	12,719	13,910	1,191
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	1,013	1,021	8
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	194,283,775	196,862,515	2,578,740	固定負債	954,110	886,443	△67,666
土地	193,633,977	196,205,409	2,571,432	地方債	814,045	741,822	△72,223
建物・工作物	592,292	624,340	32,048	長期借入金	-	-	-
リース資産	3,385	2,370	△1,016	退職手当引当金	137,670	143,247	5,577
建設仮勘定	54,121	30,397	△23,725	リース債務	2,395	1,374	△1,021
無形固定資産	968	921	△48	その他固定負債	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	1,181,784	1,093,097	△88,688
土地	-	-	-	純資産	193,102,959	195,770,339	2,667,380
建物・工作物	-	-	-	重要物品	0	0	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	0	0	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	194,284,743	196,863,436	2,578,692
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	194,284,743	196,863,436	2,578,692
資産の部合計	194,284,743	196,863,436	2,578,692				

Ⅲ 財務構造分析

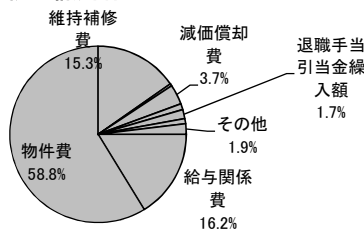
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	21.55 人	9 人	2,020 日		236,751
給与関係費等	193,438 千円	23,164 千円	20,150 千円		
内、時間外勤務手当	3,736 千円				

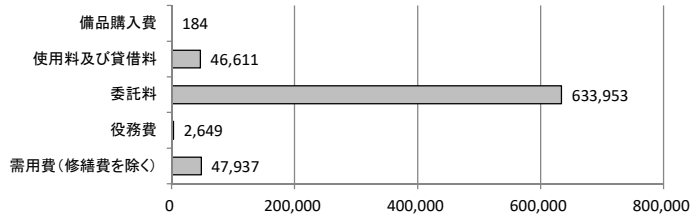
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	公園の開設及び開発行為に伴う移管・帰属
建物・工作物	公園の開設及び開発行為に伴う移管・帰属
地方債	地方債償還額 213,943千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	公園施設
取得年月日	昭和31年(1956年)4月21日
建物・工作物の取得価額	1,462,010 千円
建物・工作物の減価償却累計額	837,670 千円
利用料金収入	44,567 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	4.0	3.5	13.0	9.5
施設老朽化比率	56.1	57.4	57.3	△ 0.1
受益者負担比率	4.3	3.6	3.6	0.0
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	89.5	75.8	86.4	10.6
経常費用対公共資産比率	64.4	76.2	85.1	8.9

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費731,934千円(58.8%)、給与関係費202,235千円(16.2%)、維持補修費190,374千円(15.3%)等となっています。
物件費の内訳といたしましては、委託料が633,953千円、使用料及び賃借料が46,611千円、需用費47,937千円、役務費264,9千円となっています。
施設維持補修費比率が前年までと比べ10%ほど増加していますが、これは千里北公園水遠池整備工事等の大きな工事の支払いが平成30年度にあったためです。また、一般財源充当比率が10%ほど増加していますが、これは平成29年度に樹木健全度調査結果による樹木伐採業務を、緑化推進基金からの繰り入れで実施したため、一時的に下がっていたものが、もとに戻ったものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設老朽化比率は特に高くはないですが、今後も管理施設が増えていくのに合わせて、支出は委託料や工事請負費等の維持補修に要する費用が多くを占めており、維持管理の重要度が高まっています。
今後はさらに予防保全的な立場から、公園施設の計画的な維持管理と改築更新を進めることが課題と考えており、
①施設点検や樹木健全度調査等の有資格者による調査業務の定期的な実施。
②維持管理実績の情報管理と活用。
を、進めていきたいと考えています。